

2013 6/11

No.1948

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



「ラリーニッポン2013 in Y154」が5月25、26の両日行われ、独特のフォルムに重厚なエンジン音を響かせながら、往年の名車が文明開化の窓口となった開港の地・横浜を走り抜けた。



contents

視点・点描	3
夏までに ネット選挙通に	
政治	4
最大の争点は経済政策 自公過半数で安定政権続く	
経済	6
アベノミクスのリスク表面化 株乱高下、ローン金利上昇	
経済	8
赤字企業率が全国で改善 18万社の財務データ分析	
企業最前線	10
アフリカに熱視線 即席麺や自動車などが意欲	
くらし2013	12
軽度者向けサービス見直し	
広告珍談	14
～うまい物がたり⑩ 油の神さま	
経済反射鏡	15
原発のトップセールス加速 インド、中東で攻勢	

事務局だより

◇横浜定例講演会

2013年7月18日（木）

13時30分～15時

ベイシェラトンホテル&タワーズ

講師は政治ジャーナリストの
末延 吉正 氏

演題は「参院選直前！ 選挙
予測と安倍政権の今後～どう
変わるニッポン」

視点 点描



夏までに ネット選挙通に

毎年衣替えの時期になると、メディアに登場するお決まりの記事がある。「夏までに〇〇の似合う体になる」といった惹句しやくくとともに紹介される、人体改造すくの術をまとめた特集である。最近もある新聞で「腰のくびれ、夏までに取り戻したい」という特集を見かけた。夏本番間近。薄着や水着でも心が晴れやかに振る舞える体型を再び…。主に女性読者のこうした願

いに応えることが記事の主眼。「肌の露出が増える季節がやってきた。鏡の前で寒い時期に蓄えられた腹回りの脂肪を見て、気持ち沈み込んではいないだろうか」。こんな書き出しで、効果的とされる筋トレ法が解説されていた。夏までに宿題を片付けられるかどうか。気をもんでいるのは、政治の世界も同じである。ただしこちらは、人体改造ならぬ意識改革

がテーマ。急浮上しているのは、今夏の参院選から解禁される、インターネットを使った選挙運動への対応である。先の記事にならえば「ネット選挙への対応、夏までに完璧に」が見出し。本文は「ネット選挙が解禁となる参院選が近づいてきた。これまでネットやフェイスブックといった交流サイトに無関心だったあなた。心配は無用。今から猛勉強すればまだ間に合う」といったところか。

画を配信することや、ツイッターで特定候補への支援を「つぶやく」ことも可能となった。電子メールは政党と候補者に限っての解禁だが、政策集などの文書をメール添付することもできる。

法改正に伴うネット選挙の解禁は、選挙運動を様変わりさせそうだが。これまで禁止とされた事項の多くが、参院選を機にOKとなるからである。一例を紹介すると、政党や候補者、有権者がホームページなどで投票を依頼したり政策を訴えたりすることが認められた。これにより一般の有権者が支持する候補者の演説を撮影した動

神奈川新聞社では神奈川大学と共催で7月6日、「ネット選挙は、社会を変えるか」と題したシンポジウムを同大横浜キャンパスで開催する。ネット選挙の解禁は私たちの社会に何をもたらすのか。さまざまな疑問が解消できるよう、その道の専門家にお出ましいただく予定である。「夏までにネット選挙通になる」。こんな宿題を自らに課した読者にはうってつけの催しだと自負している。参加無料。問い合わせ・申し込みは事務局 ☎ 045(227)0016まで。

(神奈川新聞社

統合編集局次長 宮本 敏也)

油の神さま

三十六歌仙のひとり、紀貫之は平安時代の歌人である。

土佐守として赴任していた貫之が、4年間の任期をへて、京都へもどる55日間の長い旅路を、平仮名でつづった『土佐日記』は、初めての紀行文学と位置付けられている。

難波まで海を行った。934(承平4)年12月21日、ささやかな小舟で土佐を出発。風波をおそれ、海賊におびえながらの船旅であった。難所の室戸岬をなんとか迂回、鳴門海峡をぬけて難波へ。淀川も舟でさかのぼった。ようやく都に近づいて山崎に上陸する。

山崎は平安京の外港であった。パリは、セーヌ河上流の港である。ロンドンもテムズ河の、上海も黄浦江の、それぞれ上流に開かれ

た港である。おなじように山崎も河港であり、桂川と宇治川と木津川の合流点であり、にぎわったという。

「したよ」と、三谷栄一訳注にある『土佐日記』角川文庫。

「こひつのゑ」とは、板に小さな櫃を描いた絵看板か、小さな櫃そのものに絵が描かれた看板とする。いずれにしても「櫃」の形で訴求する、食堂のような看板だろう。もうひとつ、彼が見たのは、ま

宮内省御用
白清サラスパ油

定価 一箱 一円八十銭
大箱 八十五銭 既売店 全通和洋酒合軒店東京店
東京 麹町區麹町 日新製油株式会社

日本支那製油株式会社
本社 東京 麹町區大塚五丁目

最も評判のよい
食油について
天ぶらがシツコイとか
或は不消化とか言ふのは
既に昔の事です。新
世界の權威たる日清サ
ラスパ油は人體に必要な
適當の脂肪分を持つ理
想的の食油でサラダド
ブリンゲン(イヨネー
ズ)から一般フ
ライ、天ぶら等にまで
實用化され、平素お用
ひになれば美味にして
消化を助ける事妙で
す。各御家庭にお奨め
します。

陸路、「京へ上るついでにみれば、山崎のこひつのゑも、まがりのおほちのかたも変わらざりけり」と貫之は書く。京都へ向かっていくついでに見ると、山崎の商店の小櫃こびの絵も、まがりの大きな餅の形も昔と変わっていません。

山崎には「油の神さま」という

離宮八幡宮(嵯峨天皇の離宮の跡)があるほど、古くから荏胡麻油えごまの産地であった。平安のころ、揚げ菓子があってもふしぎではない。おひつと揚げ菓子、ふたつの看板が土佐へ出立するときと変わりがなかったと貫之はいう。

そんなことを話しながら、日清オイリオのもと幹部、間野昭一さんと油の神さまにお参りした。1907(明治40)年、創業した日清が神さまの庇護を受けて、磯子に日本最大の製油工場を建設したのは1963(昭和38)年。言うまでもなく、間野さんが強力に推進した。

上の広告は磯子工場の前身である神奈川工場で、日本で初めてサラダ油が生産されてから3年後に掲出された。白いエプロン、昭和モダンの新妻がすがすがしい。

(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)

(図) 「日清サラダ油」の広告
1927(昭和2)年掲出